

若手研究者のための未来開拓論文特集の発行にあたって



若手研究者のための未来開拓論文特集編集委員会

委員長 佐波 孝彦

通信分野の国際競争はますます激化しており、その中で日本が生き残っていくためには、未来を担う若手研究者が力をつけ、活躍していくことが望まれる。日本の「失われた20年」と称される経済低迷の期間は、研究における国際競争力をも低下させてしまったように見える。その影響は、本会でも会員数の減少、投稿論文数の減少といった形で現れている。特に、優れた研究成果が得られているにもかかわらず、業務に追われて論文を執筆しない研究者が増えているのは大変残念である。研究は論文にまとめることで初めて完結すると言われるが、自らの主張を第三者に納得してもらえようように思考を整理するという経験を積むことは競争力という点でも非常に重要であると考え、そして、そのような経験の場を提供することこそが学会の使命の一つである。

和文論文誌編集委員会では、普段あまり論文を書かない若手研究者に論文執筆の契機を与えることを狙いとして、2012年より若手研究者のための特集を特別企画しており、本年度が第3回目となる。これまで同様、特集テーマとして技術分野を絞ることなく広く通信技術全般を対象とし、筆頭著者が概ね40歳以下の若手研究者・学生となる論文を募集した。

本特集に投稿された論文数は、論文14編であり、厳正な審査の結果、最終的に論文7編を採録することとした。ご投稿頂いた著者の方々、論文査読にご協力頂いた査読委員の方々、並びに事務局の方々に深く感謝申し上げます。判定にあたっては、ご投稿頂いた著者の思いに応えるべく、著者通知文の記載内容が明確になるよう、全ての論文の通知文を一字一句吟味した。特に編集委員の皆様には、幹事団からの辛辣な修正要求に対し、真摯にかつ適切にご対応頂いたことに感謝する。本特集をきっかけとして、若手研究者の方々が今後も意欲的に論文を投稿してくれることを期待する。

佐波 孝彦（正員：シニア会員） 平4慶大・理工・電気卒、平6同大大学院前期博士課程了。平7～9日本学術振興会特別研究員。平9慶大大学院後期博士課程了。同年名工大・電気情報・助手。平10千葉工大・情報・講師。平14同大助教。平20ブリティッシュコロンビア大・訪問准教授。平21千葉工大・教授。平24同大大学院・情報科学研究科長、現在に至る。博士（工学）。主としてデジタル無線通信、同期システム、無線信号処理に関する研究に従事。平21、平25本会通信ソサイエティ活動功労賞受賞。平25本会通信ソサイエティ和文論文誌編集委員長。IEEE会員。著書「移動体通信における同期技術」「情報伝送の理論と方式」など。

若手研究者のための未来開拓特集編集委員会

- | | |
|-----|--------------------------|
| 委員長 | 佐波 孝彦 |
| 幹事員 | 山崎 憲一 |
| 委員 | 大川 貢・大島 正明・大西 輝夫・小川 剛史 |
| | 小川 猛志・笹森 崇行・塩川 茂樹・末次 正 |
| | 末田 欣子・瀬戸 一郎・平 明德・高橋 徹 |
| | 寺島 美昭・豊田 啓孝・中野 雅之・西森 健太郎 |
| | 長谷川 洋平・濱住 啓之・深田 陽一・福田 盛介 |
| | 船越 裕介・星田 剛司・三上 学・山井 成良 |
| | 吉原 貴之 |